

飲酒運転の防止



秋田県警察本部交通企画課

飲酒運転に関する罰則①

○ 酒酔い運転

- 5年以下の懲役又は100万円以下の罰金
- 免許取消し

○ 酒気帯び運転

- 3年以下の懲役又は50万円以下の罰金
- 免許停止又は免許取消し

飲酒運転に関する罰則②

○ 車両等の提供の禁止

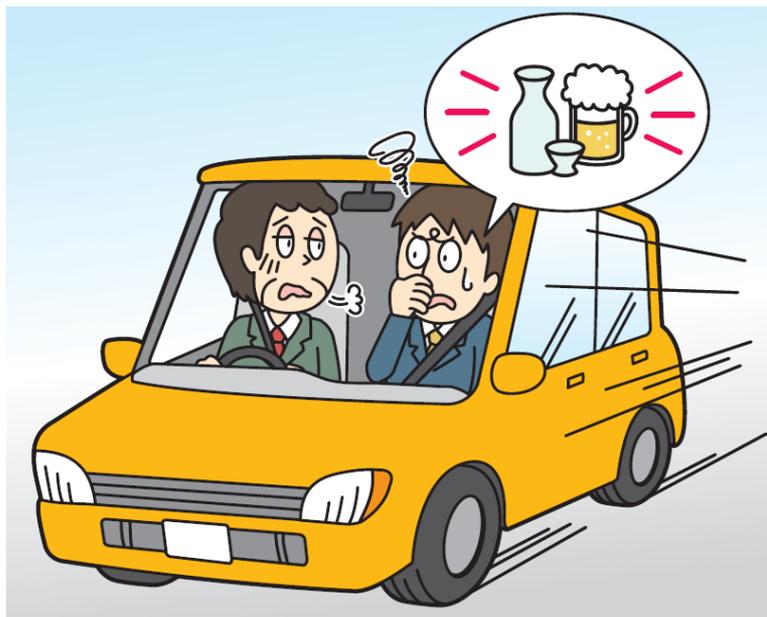
酒気を帯びて車両等を運転することとなるおそれのある人に、**車両等を提供することは禁止**されています。

○ 同乗の禁止

車両の運転者が酒気を帯びていることを知りながら、**車両に乗せてくれるよう要求又は依頼**することは**禁止**されています。

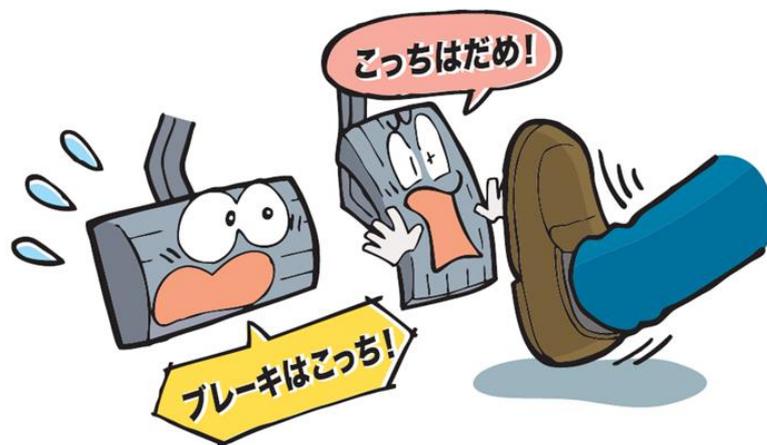
■ 軽い酒気帯びでも運転に及ぼす悪影響は大きいことを周知徹底

■ アルコールの分解には
意外と時間がかかり、
二日酔いによる飲酒運転も少なくない



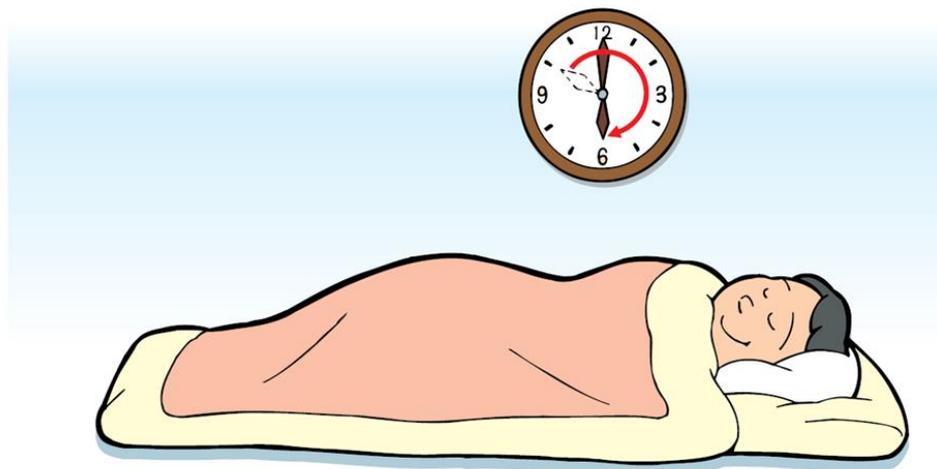
■ 軽い酒気帯びでも運転に及ぼす悪影響は大きいことを周知徹底

■ 軽い酔いでも、見落としや誤操作などを招く危険性が高くなる



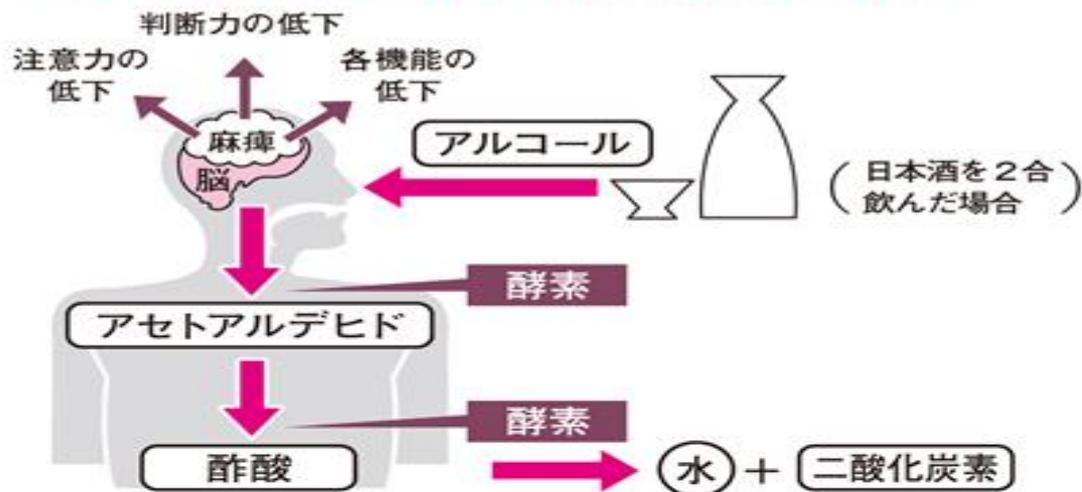
■ 軽い酒気帯びでも運転に及ぼす悪影響は大きいことを周知徹底

■ 夜遅くまでの飲酒を避けるなど、
日ごろの生活管理も重要



2 飲酒してからアルコールが抜けるまで

■ 体内におけるアルコールの分解過程と時間



アルコールが分解される時間

アルコールの分解量	体重1kgにつき 1時間当たり0.1g
日本酒2合のアルコール量	約40g
体重60kgの人の1時間当たりのアルコール分解量	$60 \times 0.1g = 6g$
体重60kgの人の日本酒2合のアルコール分解時間	$40g \div 6g \div 6.7$

日本酒2合のアルコール分解時間は約7時間になります。

注) 酒の強さに個人差があるのは、アセトアルデヒドを分解する酵素を作る能力に違いがあるからだといわれています（あくまでも目安です。）。

（国税庁の資料を基に算出）

○ 1時間で分解できるアルコール量
体重 × 0.1 ※ 個人差あり

○ 純アルコール量
酒の量 (ml)

× アルコール濃度 (度数 / 100)

× 0.8 (アルコール比重)

○ アルコール処理に要する時間

純アルコール量 (g) ÷ (体重 × 0.1)

性別、体調、体格等により個人差があるので、あくまでも目安としてください。

アルコール量20gの目安

・ ビール（5%）	500ml
・ チューハイ（7%）	350ml
・ ワイン（12%）	200ml
・ 日本酒（14%）	180ml
・ 焼酎（25%）	100ml
・ ウィスキー（40%）	60ml

※ ストロング缶（9%）500ml

→ アルコール量は約36g

飲酒運転防止のための注意点

○ 二日酔いに注意

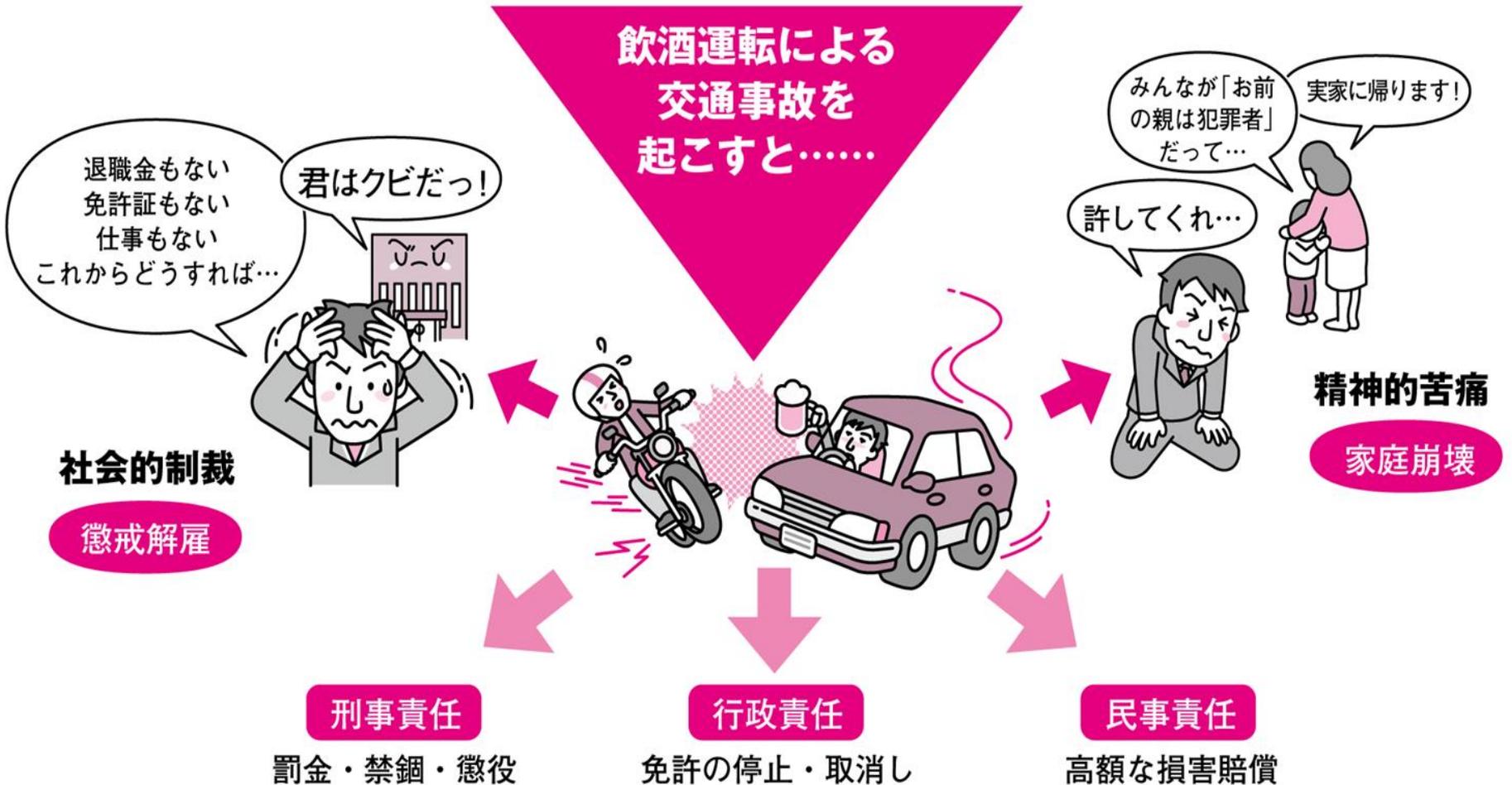
飲み過ぎると、翌日の朝でもアルコールが残っている場合があります。

○ 体調管理にも気を配る

いつもと同じ酒の量でも、体調次第では、翌朝影響が出る可能性もあります。

職場・家庭でも、今一度確認を

飲酒運転による悪影響



ご静聴ありがとうございました。

